

中江紀洋

彫刻家・

追悼

2022(令和4)年12月17日(土)～
2023(令和5)年4月9日(日)



釧路市出身の彫刻家、中江紀洋（1943～2021）は、釧路を拠点に精力的な活動を展開し、戦後北海道の彫刻界を牽引してきた作家の一人です。彼は1970年代に自然や人間、時や祈りなどをテーマとする作品を次々と発表し、有機的な形態による抽象的な木彫表現で注目を集めました。1990年代以降は、廃材を用いた構成的なインスタレーションに取り組み、晩年には釧路の風景や季節感を抽象化した造形に挑むなど、生涯に渡って作品の規模と表現の領域を拡大する旺盛な制作活動を続けました。本展では追悼展として、所蔵作品を中心に、彼が残した表現をご紹介します。

主催 北海道立釧路芸術館

共催 釧路新聞社

後援 釧路市、釧路市教育委員会、NHK釧路放送局、FMくしろ

協賛 道立釧路芸術館ポポ&ももの会、釧路芸術館ボランティアの会SOA

協力 北海道釧路江南高等学校

出品リスト

	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	自画像	2014(平成26)	ペン、アクリル絵具・紙	56.9×47.5
2	回帰（終章）	2010(平成22)	鉛筆、フェルトペン、ボールペン、アクリル絵具・紙	117.0×91.5
3	核磁気共鳴画像装置	2010(平成22)	鉛筆、フェルトペン、ボールペン、アクリル絵具・紙	91.5×117.0
4	北斗の彼方へ（脱出）	2010(平成22)	鉛筆、フェルトペン、ボールペン、アクリル絵具・紙	117.0×91.5
5	魂の安息日	1998(平成10)	石膏・着色・木(スプルース、カツラ、ラワン、ベニヤ)	180×450×346.0
6	回帰（終章）	2010(平成22)	ジェッツ、木(スプルース)、ステンレススチール、オーク材(ワイン樽片)	400.0×400.0×30.0
7	けもの道の扉	2012(平成24)	アクリル絵具、木(ニレ)	300.0×200.0×35.0
8	膝の上の猫	2014(平成26)	木(カツラ)	24.5×12.8×48
9	釧路川	2010(平成22)	鉛筆、フェルトペン、ボールペン、アクリル絵具・紙	91.5×117.0
10	湿原の春	2016 平成28)	アクリル絵具・紙	45×133.5
11	湿原の秋	2016 平成28)	アクリル絵具・紙	45×133.5
12	蜻蛉の旅立ち	2013(平成25)	アクリル絵具・紙	61.2×53.8

※No.2～7、9は北海道立釧路芸術館所蔵 No.1、8、10～12 は個人蔵

※寸法は 平面が縦×横 立体が 奥行×幅×高さ